

一般実は

一般的に「自己中心性」は発達過程で克服されると思われているが、実は人間は成長しても「本源的自己中心性」からは逃れられないものである。

自己中心性

自分の視点からは正確な認識ができるが、他者の視点に立つて物事を見ることができないという性質。

脱中心化

自分以外の視点から物事を見ることができるようになること。

ピアジェの言う自己中心性

自分の視点からは正確な認識ができるが、他者の視点に立つて物事を見ることができないという性質で、発達段階で脱中心化していくもの。

ピアジェ的な脱中心化

発達過程で自己中心性が克服され、大人の段階には相手の視点に立ち、科学的な客観性に到達し、相互的な社会関係を持つるようになること。

本源的自己中心性

発達の各段階で脱中心化しても、生身の身体を通してしか感覚運動をしたり、思考したりできぬいため、相手の視点の世界を完全に経験することはできず、完全な客観的視点は持てないという性質。

自己中心的利他性

他者の利益のための行為を互いの了解なしに相手の視点からではなく自己の思い込みでおこなってしまう性質。